PRESS RELEASE

報道関係者各位

2026 年 10 月 30 日

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

アイ・グリッド・ソリューションズ
秋の余剰再エネを有効活用する「上げ DR」を実施
～家庭の電気の使い方を昼間にシフトし、再エネを「使い切る」社会へ～

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：秋田 智一、以下「アイ・グリッド」）は、家庭向け電力サービス「スマ電」のお客さまを対象に、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の供給量が多い時間帯に電気の使用を促す「上げデマンドレスポンス」（以下「上げ DR」）を 11 月に実施することをお知らせします。

この上げ DR を促進するためにキャンペーンとして「コツコツ貯めて、冬じたく。秋の昼活チャレンジ」を開始します。

「コツコツ貯めて、冬じたく。秋の昼活チャレンジ」キャンペーンでは、太陽光発電による電力が豊富な昼間に、洗濯や食器洗い、家電の積極利用や在宅勤務などを行っていただくことで家庭の電気使用時間帯を昼間へ移す「需要シフト」をスマ電のお客さまに呼びかけます。過去のアンケート結果より年間の電気代の変動に悩むお客さまが多いことから、上げ DR 対象時間帯の電気使用量に応じた還元は電気代が高くなりがちな冬に行います。再エネの有効活用という社会的意義と、お客さまのメリットを両立する上げ DR のあり方を検証します。

■ 上げ DR の取り組みについて

デマンドレスポンス（DR）とは、電力の供給状況に合わせて、利用者が電気を使う時間帯や使用量を調整する取り組みです。電力が不足しやすい時間帯には使用を控え、再エネによる電力が余りやすい時間帯には積極的に使うことで、電力の需給バランスを整え、再エネを無駄なく活用することにつながります。今回の取り組みは、一般的な節電要請のように電気の使用量を減らす「下げ DR」ではなく、再エネが豊富な時間帯に需要を増やす、または別の時間帯から需要を移す「上げ DR」です。秋は太陽光発電による電力が生まれやすい一方、冷暖房需要が比較的小さいことから、余剰再エネを有効に活用するための需要づくりが重要になります。

アイ・グリッドは、再エネを増やすだけでなく、発電される時間に合わせて電気の需要を変えていくことが、再エネを最大限活用する社会の実現につながると考えています。本実証を通じ、生活者がメリットを感じながら無理なく参加できる仕組みを検証し、今後の上げ DR 施策やサービス設計につなげてまいります。

■ キャンペーン概要

- 対象：家庭向け電力サービス「スマ電」のお客さま
- 実施時期：2026 年 11 月
- 参加方法：エントリー制
- 実施内容：指定日時における電気使用の促進
- お客さまへの還元：対象時間帯の電気使用量に応じた電気料金還元
- 主な検証項目：電力使用量の変化、使用時間帯のシフト、参加状況、アンケートによる行動変容

※対象日時、参加条件、還元条件等の詳細は、キャンペーン案内でお知らせします。

■ 「スマ電」について

「スマ電」は、アイ・グリッドが提供する家庭向け電力サービスです。これまで、毎週土日の昼間の電力量料金単価が 0 円の料金プラン「スマ電ウィークエンドゼロ」などを通じ、再エネが発電される時間帯に合わせた電気の使い方を提案してきました。

スマ電【公式】｜土日昼間の料金単価 0 円「スマ電ウィークエンドゼロ」

■ アイ・グリッドについて

アイ・グリッドは、分散再エネをフィジカル×デジタルの融合で集約・循環させ、日本各地の GX を推進するプラットフォーマーです。企業や自治体の再エネ自給率を最大化する GX ソリューション事業、余剰再エネを循環・供給するエナジートレーディング事業を営み、PPA サービスではこれまでに累計 1,511 施設・発電容量約 395MW（2026 年 7 月末現在）の太陽光発電所を開発し、脱炭素社会実現に向け努めてまいりました。「変化より、はやく」をスローガンに、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステナブルな世界の実現をめざしていきます。

【アイ・グリッド・ソリューションズの概要】

社名：株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

本社所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目 4 番 7 号　T-LITE 15F

代表者：代表取締役社長 秋田 智一

資本金：1,616 百万円（2026 年 8 月末現在）

従業員：153 名（2026 年 6 月末現在）

設立：2004 年 2 月

コーポレートサイト：https://igrid.co.jp/

サービスサイト「iGRID GX Solution」：https://igrid.co.jp/gx/

オウンドメディア「グリラボ」：https://igrid.co.jp/gurilabo/